



いのち・絆・学び

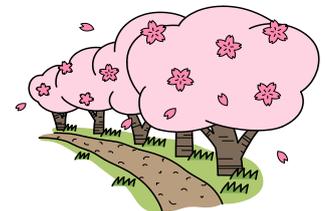
山辺町立山辺中学校 学校だより 令和2年4月14日 第1号 文責：校長

ご入学おめでとうございます

新校舎での6回目の入学式、新入生135名を迎える



4月8日、山辺町長 遠藤直幸様をはじめ、3名のご来賓の皆様にご臨席を賜り、新校舎での6回目の入学式を挙行了いたしました。新しい制服に身を包んだ新入生135名の元気な返事をして立つ姿とその輝く瞳に、「新しい中学校への期待と喜び、そして頑張るぞ!」という意気込みを感じました。本校では、新校舎への感謝の気持ちを伝えようと、通学路への花植えなど、中学生として地域に貢献できることを考え実行しています。小学校で培ってきた力を土台にし、また一つ上の高みを目指し、心と身体を磨いてください。そして、新校舎での生活に夢と希望を抱いて入学してきた新入生のみなさんが、これからの3年間で心も身体も大きく成長してくれることを願っています。



教育目標 『いのち』を大切に 『絆』を深め 『学び』続ける生徒の育成

中学校の三年間というものは、めざましい変化と成長を遂げる時期です。本校では、「いのち、絆、学び」をキーワードとして教育目標を掲げ、それに向かって様々なことに取り組んでいます。ところで、世界では平和を脅かす不安が高まっています。「いのち」とは、世界の良心、安達峰一郎博士のふるさととして、平和を愛し、自他の命と生き方を大切に、たくましく生き抜くことを意味します。「絆」とは、仲間や地域との絆を深め、豊かな心とふるさとを愛する心を育むことを意味します。「学び」とは、IT技術が高まる中、生涯にわたり学び続けることを意味します。この「いのち」「絆」「学び」のキーワードを常に心に刻んで自分を高め、先輩とともに6年目を迎えた新生山辺中の「新たな歴史」を創り上げてください。（入学式の式辞より抜粋）

臨時休校に想うこと ～今が学びの力を示すとき～

誠に残念でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学式は在校生のいない新入生と保護者の参加でした。しかしながら、他市町村が休校を決めるなか2日間新山辺中生403名と、教職員36名がそろって学校生活をスタートできたことは、このうえない喜びであり貴重な時間を過ごすことができました。

さて、しばらく臨時休校が続きます。この休校は皆さんの『いのちを守る』ための休校です。これまで山辺町で学んできた『いのちを守る大切さ』を行動で示して欲しいと強く願っています。また、『絆』の始まりはお互いの思いやりです。もしも、皆さんの友達に感染者が出たとしても、温かく見守って欲しいと思います。そして、この異常事態といえるこの体験を、貴重な『学び』の時間にして欲しいと願わずにはられません。

私達は学校から見守るしかありません。今が、皆さん一人一人の学びの力を行動で示す時であり、私達の教育の成果が問われる時だと感じています。

☆ 新任者の紹介 ☆

- 小関 英嗣 教頭（山形市立第二中学校より）住所：山形市 教科：保健体育
- 小泉奈保子（天童市立第四中学校より）住所：寒河江市 教科：英語 部活動：吹奏楽部
- 五十嵐真由美（山形市立第四中学校より）住所：山形市 教科：英語 部活動：水泳部
- 門間美恵子（育休より復職）住所：山形市 教科：社会 部活動：卓球部（バレー）



「置かれた場所で咲きなさい」

「置かれた場所で咲きなさい」 今いる場所があなたにとっての居場所です。不平や不満を言う前に、置かれた場所で自分らしく生きていけば、必ず見守ってくれる仲間や先生がいます。さらに、心を落ち着かせて生活していくと幸せになれるという意味があります。このとき大切なことは、みなさん一人一人が、将来の夢に向かって、高い「志」を掲げることです。本校から、これまで一万人を超える卒業生が輩出されており、全国はもとより世界中の様々な分野で活躍されています。いずれの卒業生も、皆さんと同じように入学し、仲間と一緒に勉強や部活動に励みました。平成の時代が終わり、新たな元号令和の時代、新たな歴史が始まります。この節目の記念する年に、皆さんの新たな生活が始まります。夢や目標に向かい、高い「志」を心に刻み、無限の可能性に向かい、惜しむことなく努力し、素敵な花を咲かせてください。

(入学式の式辞より抜粋)